



新しい雑誌が入りました

- 「旅行読売」— 総合旅行誌
- 「&プレミアム」— 大人の女性のライフスタイル誌
- 「ニューズウィーク日本版」— 日本・世界のニュース情報誌
- 「Kodomoe」— 子育て情報誌

5/27まで展示中

- 〈一般展示〉 『昭和100年』
- 〈児童展示〉 『たのしい時間をありがとう ~追悼特集~』



図書館 HP



Facebook

春のわくわく♪としょかん教室

【日時】4月27日(日) 10:00~11:30
 【対象】小学生 15名
 【内容】おはなし会やとしょかんバッグ作りなど
 【申し込み期間】3/28(金)~4/6(日)
 *保護者の申し込みが必要です。
 応募多数の場合は抽選となります。

ブックワーム Book Worm 発行

ブックワーム
 中高生向け図書館誌 Book Worm を発行しました。配布に合わせて図書館内で本の展示も行っています。



直方市山部 301-11
 Tel 0949-25-2240
 開館時間 火~土 10:00~19:00
 日・祝 10:00~17:00



カレンダー&イベントのごあんない

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	⑤
6	7	⑧	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	⑱	⑲
⑳	21	22	23	24	25	26
⑳	28	29	30			

- 4/5 (土) 14時~ おはなし会(やまびこ会)
- 8 (火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 13 (日) 10時~ おもちゃ病院(受付13時まで)●
- 18 (金) 10時15分~ 大人の朗読講座(事前申込制)●
- 19 (土) 11時~ おはなし会(赤ずきん)
- 20 (日) 11時~ おはなし会(図書館職員)
- 27 (日) 10時~ 春のわくわく♪としょかん教室(事前申込制)★

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	⑬	14	15	⑱	⑲
⑱	19	20	21	22	23	⑳
⑳	26	27	28	29	30	31

- 5/10 (土) 14時~ 土曜シアター『英雄の証明』127分★
- 14時~ 認知症カフェ図書館(事前申込制)■
- 13 (火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 16 (金) 10時15分~ 大人の朗読講座(事前申込制)●
- 17 (土) 11時~ おはなし会(赤ずきん)
- 18 (日) 10時~ キッズフェスティバル☆としょかん
*おもちゃ病院、おはなし会、ブックリサイクル開催予定
- 24 (土) 11時~ おはなし会(ごくらくとんぼ)
- 25 (日) 11時~ おはなし会(図書館職員)

■は休館、太字は17時閉館
 ○は行事のある日です

会場：★ユメニティ小ホール ●筑豊文庫資料室
 ■ユメニティ会議室 他 図書館おはなしコーナー

まっすぐだけが生き方じゃない

木に学ぶ60の知恵

リズ マーヴィン//文 653.2 マ

ロサンゼルスや岩手県での山火事は記憶に新しく、災害の痛ましさを感じます。樹木は約4億年前から地球上に存在していて、時間をかけて環境に適応すること、生き延び、繁栄することの達人だと本書の中で語られています。多種多様な樹木の特性が綺麗なイラストとともに紹介されていて、私たちもこんな心持ちで日々を過ごしてみても…と生きるヒントをもらえる、そんな一冊です。 【kn²】

一色一生

志村 ふくみ//著 753 シ

昭和100年を迎える今年、志村ふくみさんは百歳。誕生日の関係で志村さんの方が少しお姉さんになる。

染色作家として著名な志村さんは、同時にエッセイスト・詩人としての顔も持つ。

晩秋の深々とした森の木の実が糸を半透明の瑠璃色に染めてゆく、色は木の精なのだ、と本書は語っている。

百の植物に百の色、そして百歳。ぜひ本書を手にとってください。 【キャラメル】

森ねこのふしぎなたね

間瀬 みか//作 K913 マ

タツキは小学校から帰る途中で緑色の子ねこから、木でできている物にまくと森が生えてくる「森のたね」を買わないかと言われる。思わず買ったタツキは、家に帰って鉛筆にたねをまく。すると次の日、鉛筆に小さい木が集まってできた、小さな森ができていた！

生えてくる森は、まいた物の原料になっている木。ちょっとした学びにもなる、たねまきのワクワクする気持ちがつまった物語です。 【京】

奇妙で不思議な樹木の世界

ジェン グリーン//文 K653 ク

樹木の生態を、土壌学・気象学など様々な視点で解説した本書。特に注目すべきは木の共生の力です。そのネットワークは菌類(キノコ)にまで繋がっていると、この発見には、私たちの想像の及ばない神秘的な力を感じ、圧倒されます。さらに樹木のイラストには、付近に生息する様々な動物の写真が組み合わせたり、生きもの図鑑のような楽しみ方もできるサイエンスブックになっています。 【K】

いとこの森の家

東 直子//著 Fヒ

都会から田舎に引っ越し、そのギャップになじめない小学生の加奈子。でも笑顔のすてきなおばあさんと出会い、自然の中で過ごすにつれ村の生活に慣れ、命の重さや生きることについて考えをめぐらせ始めます。透明な海、柿の木や栗の木の実り、金色の稲穂、積もる雪。糸島の豊かな自然とゆったりとした時間の流れの中での加奈子の変化が印象的です。

著者が小学生時代に1年間住んだ福岡県糸島郡(当時)の体験が元の小説です。 【スタ子】

家守綺譚

梨木 香歩//著 Fナ

死んだ友人の実家の管理人となった作家志望の主人公は、鬱蒼と木々が繁るその家で、庭のサルスベリに惚れられ、掛け軸からボートを漕いで現れた死んだ友人と出会う。

あの世とこの世、現実と夢が混然となった家で飄々と暮らす主人公と共に、読み手である私たちも、いつの間にかその世界を受け入れていく。 【Bee】

そっとおとどけ 2025年4月号

毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。【 】は司書のペンネームです。

テーマ

木

